

Microsoft 365 予定表編

スケジュール連携マニュアル

[NI Collabo 360 /
Sales Force Assistant シリーズ]



目次

1.はじめに	2
1-1.連携対象製品	2
1-2.連携のタイミング	2
2.連携機能を使用するためには	3
2-1.設定の種類	4
2-1-1. API：共通設定、スケジュール連携：個人設定 手順	5
2-1-2. API：共通設定、スケジュール連携：まとめて設定 手順	6
2-2. Graph REST API の有効化と認証情報の取得	7
2-2-1. Microsoft Entra ID へのサインイン	7
2-2-2. Microsoft Entra アプリケーションの登録	8
2-2-3. クライアントシークレットの作成	12
2-2-4. 認証情報の取得	13
2-3. Outlook REST API の有効化と認証情報の取得	14
2-3-1. Microsoft Entra ID へのサインイン	14
2-3-2. Microsoft Entra アプリケーションの登録	15
2-3-3. 証明書の作成と Microsoft Entra アプリケーションへの反映	18
2-3-4. 認証情報の取得	21
2-4. システム設定：スケジュール連携	22
2-4-1. スケジュール連携を設定する(Graph REST API)	23
2-4-2. スケジュール連携を設定する(Outlook REST API)	26
2-5. システム設定：社員	29
2-5-1. 連携情報を登録する	29
2-6. オプション設定：スケジュール連携設定	31
2-6-1. 個人ごとに設定する (NI Collabo 360)	31
2-6-2. 個人ごとに設定する (Sales Force Assistant シリーズ)	34
2-7. スケジュール連携における注意事項	37
2-8. Outlook REST API から Graph REST API への切り替え	38
2-8-1. Microsoft Entra アプリケーションのアクセス許可	38
2-8-2. クライアントシークレットの作成	41
2-8-3. スケジュール連携を設定する(Graph REST API)	42
3. スケジュール連携について	44
3-1. NI Collabo 360 との連携	44
3-1-1. 連携の特徴	45
3-1-2. 注意事項について	47
3-2. Sales Force Assistant シリーズとの連携	48
3-2-1. 連携の特徴	49
3-2-2. 注意事項について	50
3-3. iOS 端末 (iPhone、iPad) の標準カレンダーアプリ情報との連携	51
3-3-1. カレンダー同期	51
4. トラブルシューティング	52
スケジュールが選択できない。	52
スケジュール連携設定を行ったが連携されない。	52
連携先サービスを変更する、または連携をやめる場合の注意点。	55



・本マニュアルについて

Sales Force Assistant 顧客深耕 AO の「コンタクト情報」を「商談情報」と記載しております。

1.はじめに

スケジュール連携機能は、Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを、Microsoft 365 (Exchange Online) 予定表 (※以下 Microsoft 365 予定表) に連携して自動登録することができます。また、Microsoft 365 予定表から登録したスケジュール情報を NI Collabo 360・Sales Force Assistant シリーズのスケジュールとして取り込みができます。

1-1.連携対象製品

Microsoft 365 予定表と連携が可能な対象の製品は以下の通りです。

- ・ NI Collabo 360 (Microsoft 365 予定表→NI Collabo 360 のみ)
- ・ Sales Force Assistant シリーズ

1-2.連携のタイミング

スケジュールが連携されるタイミングは以下の通りです。リアルタイムには連携しませんのでご注意ください。



※データ通信量、連携先カレンダーの負荷状況により変動します。



補足

- ・ 他システムのカレンダーからの取り込み間隔は、システム設定より 30～240 分内で選択ができます。
⇒詳細は「[2-4.システム設定：スケジュール連携](#)」を参照してください。
- ・ 複数の連携先システムに対してスケジュール連携を行うことはできません。連携先を1つ選択する必要があります。
- ・ 他連携サービスとの連携は、各連携サービス向けのマニュアルを参照してください。

2.連携機能を使用するためには

スケジュール連携を使用するためには、事前に以下の項目を決定してください。

1. Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを Microsoft 365 予定表へ連携するか

A

⇒詳細については、「[2-4.システム設定：スケジュール連携](#)」を参照してください。

※NI Collabo 360 のスケジュールを Microsoft 365 予定表に連携することはできません。

2. Microsoft 365 予定表を NI Collabo 360・Sales Force Assistant シリーズへ連携するか

B

連携する場合

NI Collabo 360 に取り込まれたスケジュールは
公開する / 公開しない / 個人ごとに決定させる

C

3. スケジュール連携について、個人ごとの変更を許可するか

D

許可する場合

API を共通で設定し、スケジュール連携を個人で設定する
・・・[「2-1-1. API：共通設定、スケジュール連携：個人設定 手順」](#)を参照
してください。

許可しない場合

API を共通で設定し、スケジュール連携をまとめて設定する
・・・[「2-1-2. API：共通設定、スケジュール連携：まとめて設定 手順」](#)を
参照してください。

※許可しない場合、スケジュール連携設定はシステム管理者がまとめて設定/変更しなければなりません。

※A～Cは、システム設定「スケジュール連携」で設定を行います。

⇒[「2-4.システム設定：スケジュール連携」](#)を参照し、こちらより設定を始めてください。

2-1.設定の種類

連携機能を使用するためには、下記の設定が必要です。

②の設定によって、設定しなければならない箇所が異なりますのでご注意ください。(詳細は、前頁を参照してください。)

※運用イメージは、次頁を参考にしてください。

① API 設定	<p>Microsoft Entra ID で、API の利用設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-2. Graph REST API の有効化と認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>※Graph REST API を使用する以前の手順は、「2-3. Outlook REST API の有効化と認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>Outlook REST API は、2024 年 3 月 31 日に完全に非推奨となる予定と Microsoft 社から発表されています。</p> <p>Outlook REST API から Graph REST API へ切り替えを行う場合は、「2-8. Outlook REST API から Graph REST API への切り替え」を参照してください。</p>
②システム設定 「スケジュール連携」	<p>スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-4.システム設定：スケジュール連携」を参照してください。</p>
③システム設定 「社員」	<p>システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-5.システム設定：社員」を参照してください。</p>
④オプション設定 「スケジュール連携設定」	<p>各社員がスケジュール連携設定を行います。</p> <p>※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合</p> <p>⇒詳細は、「2-6.オプション設定：スケジュール連携設定」を参照してください。</p>
 注意	<p>・スケジュール連携における注意事項について</p> <p>設定の際は、「2-7.スケジュール連携における注意事項」を参照しながら設定を行ってください。</p>

<運用イメージ>

API 利用設定はシステム担当者が行い、Microsoft 365 予定表と NI 製品スケジュールとの連携は、個人（社員）で設定するイメージです。

API を**共通**で設定し、スケジュール連携は**個人**で設定するためには、以下の設定ステップで実施してください。

Step 1

<p>API の有効化を行う 【共通】</p>	<p>Microsoft Entra ID で、共通で使用する API の利用設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-2. Graph REST API の有効化と認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>※Graph REST API を使用する以前の手順は、「2-3. Outlook REST API の有効化と認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>Outlook REST API は、2024 年 3 月 31 日に完全に非推奨となる予定と Microsoft 社から発表されています。</p> <p>Outlook REST API から Graph REST API へ切り替えを行う場合は、「2-8. Outlook REST API から Graph REST API への切り替え」を参照してください。</p>
-----------------------------	---



Step 2

<p>システム設定 「スケジュール連携」</p>	<p>システム管理者がスケジュール連携設定を行います。</p> <p>システム設定-スケジュール連携-スケジュール連携設定の「共通認証情報」設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-4.システム設定 : スケジュール連携」を参照してください。</p>
------------------------------	--



Step3

<p>オプション設定 「スケジュール連携設定」</p>	<p>各社員がスケジュール連携を設定します。</p> <p>※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合</p> <p>⇒詳細は、「2-6.オプション設定 : スケジュール連携設定」を参照してください。</p>
---------------------------------	--

<運用イメージ>

API 利用設定、Microsoft 365 予定表と NI 製品スケジュールとの連携まで全てシステム管理者が設定するイメージです。

API を**共通で設定**し、スケジュール連携を**まとめて設定**するためには、以下の設定ステップで実施してください。

Step 1

<p>API の有効化を行う 【共通】</p>	<p>Microsoft Entra ID で、共通で使用する API の利用設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-2. Graph REST API の有効化と認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>※Graph REST API を使用する以前の手順は、「2-3. Outlook REST API の有効化と認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>Outlook REST API は、2024 年 3 月 31 日に完全に非推奨となる予定と Microsoft 社から発表されています。</p> <p>Outlook REST API から Graph REST API へ切り替えを行う場合は、「2-8. Outlook REST API から Graph REST API への切り替え」を参照してください。</p>
-----------------------------	---



Step 2

<p>システム設定 「スケジュール連携」</p>	<p>システム管理者がスケジュール連携設定を行います。</p> <p>システム設定-スケジュール連携-スケジュール連携設定の「共通認証情報」設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-4.システム設定 : スケジュール連携」を参照してください。</p>
------------------------------	--



Step3

<p>システム設定 : 社員 「スケジュール連携」</p>	<p>システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行います。</p> <p>⇒詳細は、「2-5.システム設定 : 社員」を参照してください。</p>
-----------------------------------	---

2-2. Graph REST API の有効化と認証情報の取得

Microsoft Entra ID で、Graph REST API の利用設定を行います。

2-2-1. Microsoft Entra ID へのサインイン

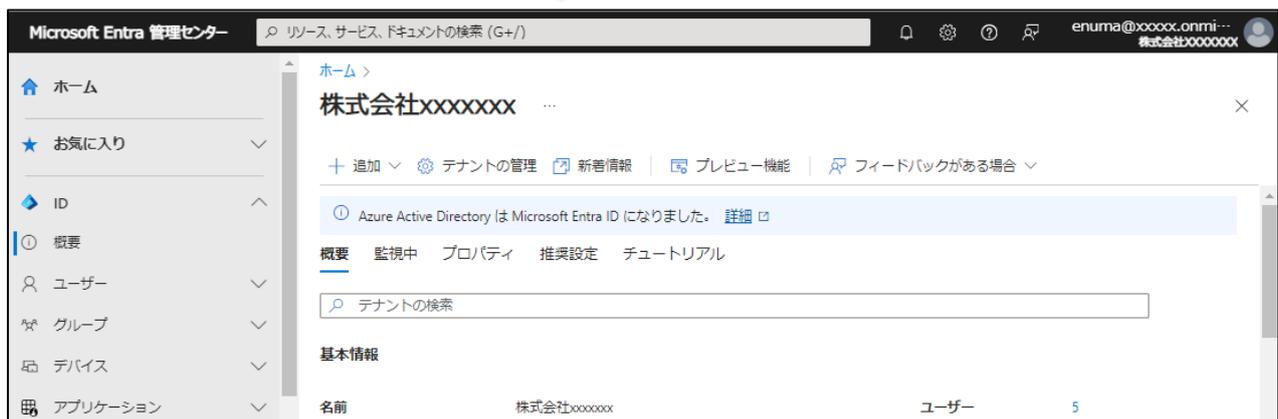
1. 下記のアドレスから Microsoft 365 管理センターに管理者ユーザーでサインインします。

Microsoft 365 管理センター 『 <https://admin.microsoft.com/Adminportal/> 』

⇒Microsoft 365 管理センターのホーム画面が表示されます。

2. 画面左メニュー「すべてを表示」>「ID」をクリックします。

3. ⇒Microsoft Entra 管理センターの Microsoft Entra テナント概要画面が表示されます。



2-2-2. Microsoft Entra アプリケーションの登録

1. 画面左メニュー「アプリケーション」>「アプリの登録」>「新規登録」をクリックします。

アプリケーションの登録画面が表示されます。



2. 以下の入力を行い、アプリケーションの登録を行います。

The screenshot shows the 'アプリケーションの登録' (App Registration) form. Red boxes and arrows highlight the following fields:

- 名前 (Name):** A dropdown menu with 'スケジュール連携' (Schedule Sync) selected.
- サポートされているアカウントの種類 (Supported account types):** Radio buttons for account types. The first option, 'この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (株式会社xxxxxxx のみ - シングル テナント)' (Accounts only in this organization directory (only for 株式会社xxxxxxx) - Single tenant), is selected.
- リダイレクト URI (Redirect URI):** A dropdown menu with 'Web' selected and a text input field containing '例: https://example.com/auth'.
- 登録ボタン (Register button):** A blue button at the bottom left of the form.

(ア) : 任意の名前を入力します。

(イ) : 「この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント」を選択します。

(ウ) : 左プルダウンは「Web」を選択します。右のテキストは、未入力とします。

(エ) : 登録ボタンをクリックします。

Microsoft Entra アプリケーションが登録されます。

3. API へのアクセス許可の設定を行います。

(ア) 作成したアプリケーションの「API のアクセス許可」 > 「アクセス許可の追加」をクリックします。

ホーム > アプリの登録 > スケジュール連携

スケジュール連携 | API のアクセス許可

検索 << 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要

- クイックスタート
- 統合アシスタント

管理

- ブランド化とプロパティ
- 認証
- 証明書とシークレット
- トークン構成
- API のアクセス許可**
- API の公開
- アプリロール
- 所有者

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加 株式会社xxxxxxx に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の…	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	…

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、エンタープライズ アプリケーションをお試しください。

(イ) 画面上のタグから「所属する組織で使用している API」 > 「Microsoft Graph」をクリックします。

API アクセス許可の要求

API を選択します

Microsoft API 所属する組織で使用している API 自分の API

API を公開するディレクトリ内のアプリは、以下のとおりです

Microsoft

名前	アプリケーション (クライアント) ID
Microsoft Customer Engagement Portal	71234da4-b92f-429d-b8ec-6e62652e50d7
Microsoft Device Directory Service	8f41dc7c-542c-4bdd-8eb3-e60543f607ca
Microsoft Dynamics 365 Apps Integration	44a02aaa-7145-4925-9dcd-79e6e1b94eff
Microsoft Dynamics 365 Supply Chain Visibility	d6037e40-282c-493d-8f63-f25e36c6ef4
Microsoft Exchange Online Protection	00000007-0000-0ff1-ce00-000000000000
Microsoft Flow Service	7df0a125-d3be-4c96-aa54-591f83ff541c
Microsoft Forms	c9a559d2-7aab-4f13-a6ed-e7e9c52aec87
Microsoft Graph	00000003-0000-0000-c000-000000000000
Microsoft Information Protection API	40775b29-2688-46b6-a3b5-b256bd04df9f
Microsoft Information Protection Sync Service	870c4f2e-85b6-4d43-bdda-6ed9a579b725
Microsoft Intune	0000000a-0000-0000-c000-000000000000
Microsoft Intune AAD BitLocker Recovery Key Integration	ccf4d8df-75ce-4107-8ea5-7afd618d4d8a
Microsoft Intune API	c161e42e-d4df-4a3d-9b42-e7a3c31f59d4
Microsoft Intune Enrollment	d4ebce55-015a-49b5-a083-c84d1797ae8c
Microsoft Intune IW Service	b8066b99-6e67-41be-abfa-75db1a2c8809

(ウ) 「アプリケーションの許可」 > 「Calendars.ReadWrite」 > 「アクセス許可の追加」をクリックします。

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
<https://graph.microsoft.com/> [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
 アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
 アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する すべて展開

	アクセス許可	管理者の同意が必要
▼	Calendars (1)	
<input type="checkbox"/>	Calendars.Read Read calendars in all mailboxes	はい
<input type="checkbox"/>	Calendars.ReadBasic.All Read basic details of calendars in all mailboxes	はい
<input checked="" type="checkbox"/>	Calendars.ReadWrite Read and write calendars in all mailboxes	はい

アクセス許可の追加
破棄

(エ) 「API のアクセス許可」画面にて「管理者の同意を与えます」をクリックします。

スケジュール連携 | API のアクセス許可

検索 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント

管理

- ブランド化とプロパティ
- 認証
- 証明書とシークレット
- トークン構成
- API のアクセス許可
- API の公開
- アプリ ロール
- 所有者
- ロールと管理者
- マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

- トラブルシューティング
- 新しいサポート リクエスト

⚠️ アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意が必要になります。

ℹ️ “管理者の同意が必要” 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加
✓ 株式会社xxxxxxx に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の…	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (2)				
Calendars.ReadV	アプリケー…	Read and write calend…	はい	⚠️ 株式会社xxxxxxx に付…
User.Read	委任済み	Sign in and read user …	いいえ	…

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

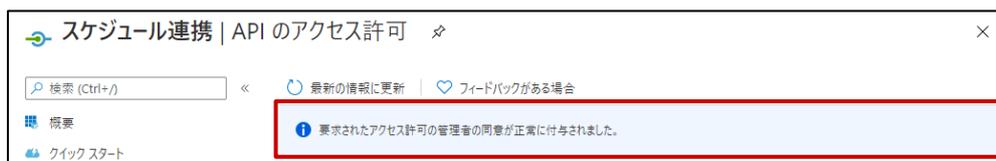
(オ) 確認のダイアログが出た場合、「はい」をクリックします。

管理者の同意の確認を与えます。

株式会社xxxxxxx のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか？ この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

はい
いいえ

(カ) アクセス許可の付与が成功すると画面上に以下のメッセージが表示されます。



2-2-3. クライアントシークレットの作成

登録したアプリケーションに「[2-4-1.スケジュール連携を設定する\(Graph REST API\)](#)」に必要なクライアントシークレットを作成します。

1. 作成したアプリケーションの「証明書とシークレット」>「新しいクライアントシークレット」をクリックします。



2. 任意の説明を入力し、有効期限の選択を行い、「追加」をクリックします。

説明	このクライアントシークレットの説明を入力してください
有効期限	推奨: 180 日 (6 か月)

3. 表示される「値」をコピーします。



クライアントシークレットの「値」は作成直後しか確認できず、画面を移動・閉じてしまうと「値」は非表示となります。
コピーに失敗した場合、同様の手順で再度新しいクライアントシークレットを作成してください。

2-2-4. 認証情報の取得

登録したアプリケーションから「[2-4.システム設定：スケジュール連携](#)」に必要な情報を取得します。

1. クライアント ID を取得します。

作成したアプリケーションの「概要」をクリックします。画面右に表示されるアプリケーション(クライアント ID)の項目を確認してください。(「[2-4-1.スケジュール連携を設定する\(Graph REST API\)](#)」で使用します。)

2. OAuth 2.0 トークン エンドポイントを取得します。

作成したアプリケーションの「概要」>「エンドポイント」をクリックします。「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v1)」を確認してください。(「[2-4-1.スケジュール連携を設定する\(Graph REST API\)](#)」で使用します。)

※「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v2)」は使用しません。

2-3. Outlook REST API の有効化と認証情報の取得

Microsoft Entra ID で、Outlook REST API の利用設定を行います。



Outlook REST API は、2024 年 3 月 31 日に完全に非推奨となる予定と Microsoft 社から発表されています。
新規で設定される場合は、「[2-2. Graph REST API の有効化と認証情報の取得](#)」の手順で設定してください。

2-3-1. Microsoft Entra ID へのサインイン

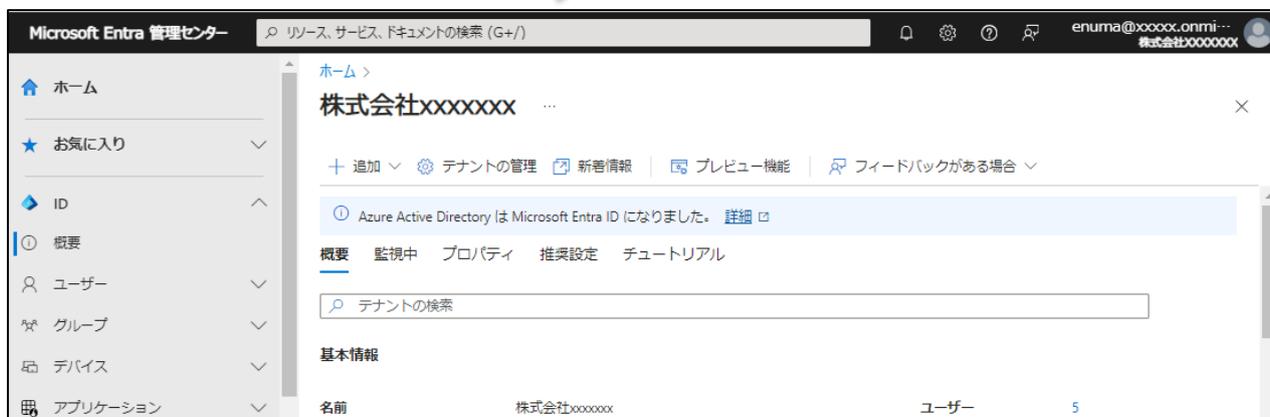
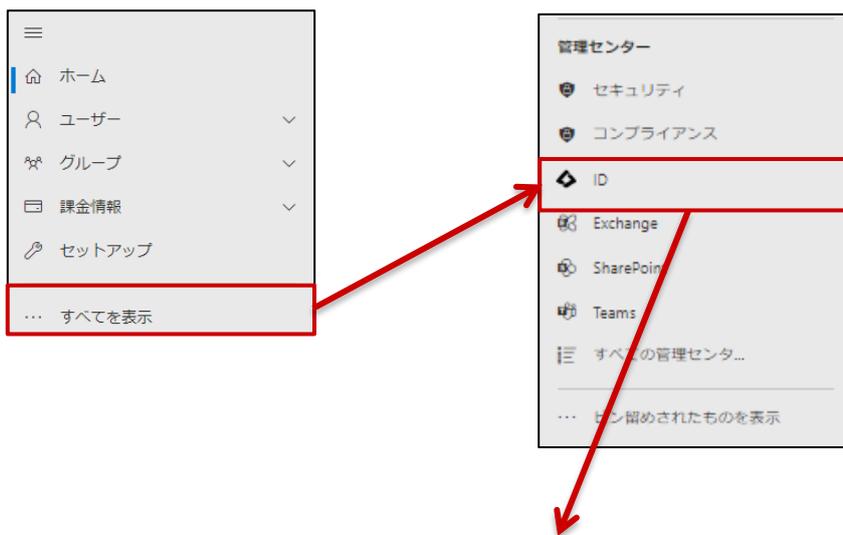
1. 下記のアドレスから Microsoft 365 管理センターに管理者ユーザーでサインインします。

Microsoft 365 管理センター 『 <https://admin.microsoft.com/Adminportal/> 』

⇒Microsoft 365 管理センターのホーム画面が表示されます。

2. 画面左メニュー「すべてを表示」>「ID」をクリックします。

3. ⇒Microsoft Entra 管理センターの Microsoft Entra テナント概要画面が表示されます。



2-3-2. Microsoft Entra アプリケーションの登録

1. 画面左メニュー「アプリケーション」>「アプリの登録」>「新規登録」をクリックします。

アプリケーションの登録画面が表示されます。



2. 以下の入力を行い、アプリケーションの登録を行います。

(ア)：任意の名前を入力します。

(イ)：「この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント」を選択します。

(ウ)：左プルダウンは「Web」を選択します。右のテキストは、未入力とします。

(エ)：登録ボタンをクリックします。

Microsoft Entra アプリケーションが登録されます。

3. API へのアクセス許可の設定を行います。

(ア) 作成したアプリケーションの「API のアクセス許可」 > 「アクセス許可の追加」をクリックします。

ホーム > アプリの登録 > スケジュール連携

スケジュール連携 | API のアクセス許可

検索 << 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要

- クイックスタート
- 統合アシスタント

管理

- ブランド化とプロパティ
- 認証
- 証明書とシークレット
- トークン構成
- API のアクセス許可**
- API の公開
- アプリ ロール
- 所有者

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加 ✓ 株式会社xxxxxxxxx に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の...	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	...

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

(イ) 画面上のタグから「所属する組織で使用している API」 > 「Office 365 Exchange Online」をクリックします。

API アクセス許可の要求

API を選択します

Microsoft API 所属する組織で使用している API 自分の API

API を公開するディレクトリ内のアプリは、以下のとおりです

Office

名前	アプリケーション (クライアント) ID
Office 365 Enterprise Insights	f9d02341-e7aa-456d-926d-4a0ca599fbee
Office 365 Exchange Online	00000002-0000-0ff1-ce00-000000000000
Office 365 Information Protection	2f3f02c9-5679-4a5c-a605-0de55b07d135
Office 365 Management APIs	c5393580-f805-4401-95e8-94b7a6ef2fc2
Office 365 Mover	d62121f3-e023-4972-b6b0-794190c0fd98
Office 365 Search Service	66a88757-258c-4c72-893c-3e8bed4d6899
Office 365 SharePoint Online	00000003-0000-0ff1-ce00-000000000000
Office Scripts Service	62fd1447-0ef3-4ab7-a956-7dd05232ecc1
Office Shredding Service	b97b6bd4-a49f-4a0c-af18-af507d1da76c
Office365 Shell SS-Server	e8bdeda8-b4a3-4eed-b307-5e2456238a77
Office365 Zoom	0d38933a-0bbd-41ca-9ebd-28c4b5ba7cb7
OfficeServicesManager	9e4a5442-a5c9-4f6f-b03f-5b9fcaaf24b1

(ウ) 「アプリケーションの許可」 > 「Calendars.ReadWrite.All」 > 「アクセス許可の追加」をクリックします。

API アクセス許可の要求

Office 365 Exchange Online
https://outlook.office.com

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーではなく、バックグラウンドサービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する すべて展開

アクセス許可を入力し始めると、これらの結果がフィルター処理されます

アクセス許可	管理者の同意が必要
その他のアクセス許可	
<input type="checkbox"/> full_access_as_app Use Exchange Web Services with full access to all mailboxes	はい
Calendars (1)	
<input type="checkbox"/> Calendars.Read Read calendars in all mailboxes	はい
<input type="checkbox"/> Calendars.Read.All Read calendars in all mailboxes	はい
<input checked="" type="checkbox"/> Calendars.ReadWrite.All Read and write calendars in all mailboxes	はい
> Contacts	

アクセス許可の追加 破棄

(エ) 「API のアクセス許可」画面にて「管理者の同意を与えます」をクリックします。

スケジュール連携 | API のアクセス許可

検索

概要
クイックスタート
統合アシスタント

管理
ブランド化とプロパティ
認証
証明書とシークレット
トークン構成
API のアクセス許可
API の公開
アプリロール
所有者
ロールと管理者
マニフェスト

サポート + トラブルシューティング
トラブルシューティング
新しいサポートリクエスト

アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意が必要になります。

「管理者の同意が必要」列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加 株式会社xxxxxxxx に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の...	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
Microsoft Graph (1)				
User.Read	委任済み	Sign in and read user ...	いいえ	...
Office 365 Exchange				
Calendars.ReadWrite.All	アプリケーション	Read and write calend...	はい	株式会社xxxxxxxx に付...

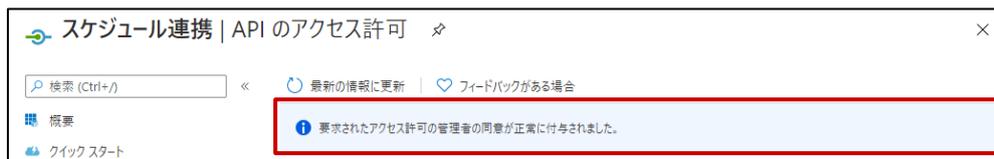
個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

(オ) 確認のダイアログが出た場合、「はい」をクリックします。

管理者の同意の確認を与えます。

株式会社xxxxxxxx のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか？ この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

(カ) アクセス許可の付与が成功すると画面上に以下のメッセージが表示されます。



2-3-3. 証明書の作成と Microsoft Entra アプリケーションへの反映

1. スケジュール連携機能は証明書ベースの認証を用います。

このため第三者認証機関が承認した証明書ファイル(.cer または .crt)を準備します。

Microsoft 365 をお客様独自ドメインでご利用の場合は、設定されたドメインの公開証明書ファイルを準備してください。

2. 公開証明書ファイルを PKCS#12 (.pfx) 形式でエクスポートします。

詳細は認証局の設定手順に従ってください。

一般的なエクスポート方法は、OpenSSL コマンドを使用する方法です。

OpenSSL コマンドについては、以下のサイトでも紹介されていますので参考にしてください。

PFX への証明書のエクスポート

『 <https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/app-service/configure-ssl-certificate#export-certificate-to-pfx> 』

3. Windows PowerShell で公開証明書ファイルから、設定に必要な値を抽出します。

(ア) Windows PowerShell をインストールする。

※OS が Windows 10 以降の PC には初期状態でインストールされていますので、作業不要です。

下記 URL に従い、Windows Management Framework Core パッケージをダウンロードし、インストーラーを実行します。

『 <https://docs.microsoft.com/ja-jp/powershell/scripting/install/installing-powershell-core-on-windows?view=powershell-7.1> 』

(イ) スタートメニューより Windows PowerShell を起動します。

「スタート」 > 「すべてのプログラム」 > 「アクセサリ」 > 「Windows PowerShell」 > 「Windows PowerShell」

(ウ) 下記コマンドをコピーし、PowerShell に右クリックでペーストします。

※赤字の部分を適宜修正してください。

```
cd "作業フォルダのパス"
$cer = New-Object System.Security.Cryptography.X509Certificates.X509Certificate2
$cer.Import("証明書ファイル (.cre または .crt) の絶対パス")
$bin = $cer.GetRawCertData()
$base64Value = [System.Convert]::ToBase64String($bin)
$bin = $cer.GetCertHash()
$base64Thumbprint = [System.Convert]::ToBase64String($bin)
$keyid = [System.Guid]::NewGuid().ToString()
echo $base64Value > base64Value.txt
echo $base64Thumbprint > base64Thumbprint.txt
echo $keyid > keyid.txt
```

⇒作業フォルダに3つのテキストファイル「base64Value.txt」、「base64Thumbprint.txt」、「keyid.txt」が出力されます。

4. Microsoft Entra アプリケーションのマニフェストファイルの編集を行います。

(ア) 作成したアプリケーションの「マニフェスト」をクリックします。



(イ) エディターの空の KeyCredentials プロパティを次の内容に置き換えます。

・変更前

```
"keyCredentials": [],
```

・変更後(※赤字部分に、[前項](#)で出力したテキストファイルの内容を反映してください。)

```
"keyCredentials": [
  {
    "customKeyIdentifier": "base64Thumbprint.txt の内容",
    "keyId": "keyid.txt の内容",
    "type": "AsymmetricX509Cert",
    "usage": "Verify",
    "value": "base64Value.txt の内容"
  }
],
```

(ウ) 変更が完了したら保存ボタンをクリックします。保存に成功すると画面上に以下のメッセージが表示されます。



2-3-4. 認証情報の取得

登録したアプリケーションから「[2-4.システム設定：スケジュール連携](#)」に必要な情報を取得します。

1. クライアント ID を取得します。

作成したアプリケーションの「概要」をクリックします。画面右に表示されるアプリケーション(クライアント ID)の項目を確認してください。(「[2-4-2.スケジュール連携を設定する\(Outlook REST API\)](#)」で使用します。)

2. OAuth 2.0 トークン エンドポイントを取得します。

作成したアプリケーションの「概要」>「エンドポイント」をクリックします。「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v1)」を確認してください。(「[2-4-2.スケジュール連携を設定する\(Outlook REST API\)](#)」で使用します。)

※「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v2)」は使用しません。



2-4.システム設定：スケジュール連携

スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。

Microsoft Entra ID で有効化した API によって設定が異なります。

Graph REST API の場合、「[2-4-1.スケジュール連携を設定する\(Graph REST API\)](#)」を参照してください。

Outlook REST API の場合、「[2-4-2.スケジュール連携を設定する\(Outlook REST API\)](#)」を参照してください。



・スケジュール連携に必要な条件について

Microsoft 365 予定表に連携するためには、製品がインストールされているサーバーから、

443 ポートを通じて <https://outlook.office365.com>、

<https://login.microsoftonline.com> へアクセス可能な環境が必要です。

社内のご担当者、あるいはネットワーク業者へご確認ください。

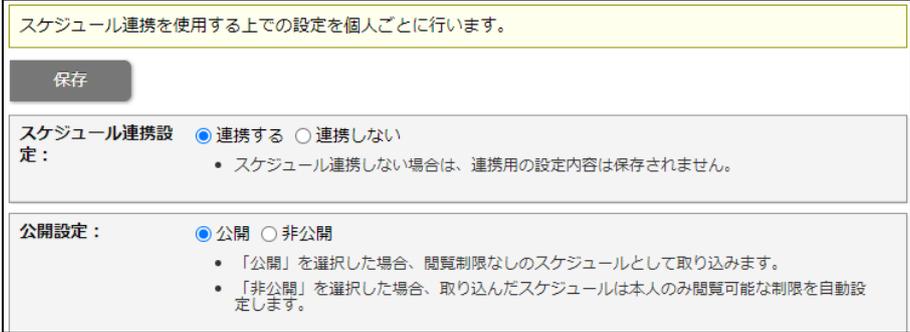
・予定表のデフォルト値が選択されている場合

予定表が公開(共有)になっていると、登録されたスケジュールも全て公開(共有)される為、
ご注意ください。

2-4-1.スケジュール連携を設定する(Graph REST API)

- システム設定の **運用管理** より「**スケジュール連携**」の「**基本設定**」を選択します。
⇒「スケジュール連携／基本設定」画面が表示されます。
- 必要事項を設定し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

スケジュール連携 *:	<input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない
連携サービス *:	Microsoft 365(Exchange Online) ▼
API *:	<input checked="" type="radio"/> Graph REST API <input type="radio"/> Outlook REST API
個人ごとの設定変更 許可:	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない
連携サービスへの登 録:	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
連携サービスからの 取り込み:	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
取り込み間隔:	60 ▼ (分) 設定した間隔でスケジュールを取り込みます。 取り込み間隔を短くすると、スケジュール表示の動作が遅くなる場合があります。
取り込み期間:	3 ▼ (ヶ月) 設定した期間でスケジュールを取り込みます。 取り込み期間を長くすると、スケジュール表示の動作が遅くなる場合があります。
スケジュールの公開 (NI Collabo 36 0):	<input checked="" type="radio"/> 公開する <input type="radio"/> 公開しない <input type="radio"/> 個人設定 (初期値は公開する) [NI Collabo 360に取り込まれたスケジュール] 公開する: 閲覧制限なしで取り込まれます。 公開しない: 本人のみが見られる状態で取り込まれます。 個人設定 (初期値は公開する): 設定を個人ごとにオプション設定で変更可能にします。 個人ごとの設定変更を許可しない場合は個人設定は選択できません。 [Sales Force Assistantライセンスのみご利用の社員] 常に非公開のスケジュールとして取り込まれます。 操作者本人のスケジュールのみ週・月スケジュール画面に表示されます。
共通認証情報	
クライアントID:	xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Microsoft EntraアプリケーションのクライアントIDを指定します。 例: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
クライアントシーク レット: Microsoft Entraアプリケーションのクライアントシークレットの値を指定します。
ドメイン名:	xxxxx.onmicrosoft.com Microsoft 365(Exchange Online)で利用するユーザーのドメイン名を指定します。 例: xxxxx.onmicrosoft.com
OAUTH 2.0 トーク ンエンドポイント:	https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token OAUTH 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを、Microsoft Entra管理画面よりコピー&ペーストして指定します。 例: https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token

	項目名称	説明
	スケジュール連携	Microsoft 365 予定表とのスケジュール連携機能を利用するかしないか選択します。
	連携サービス	連携するサービスを選択します。
	API	「Graph REST API」を選択します。 ※「連携サービス」に「Microsoft 365(Exchange Online)」を選択した場合の設定です。
D	個人ごとの連携設定の変更許可	社員ごとに連携設定を行うことを許可するかしないかを選択します。 「許可する」場合 「オプション設定」-「スケジュール」メニューに「 スケジュール連携設定 」が追加されます。 ⇒詳細は、「 2-6.オプション設定：スケジュール連携設定 」を参照してください。 「許可しない」場合 システム設定画面から、利用社員分の連携ユーザーID等を指定します。 ⇒詳細は、「 2-5.システム設定：社員 」を参照してください。
A	連携サービスへの登録	Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを、Microsoft 365 予定表に登録するかしないか選択します。
B	連携サービスからの取り込み	Microsoft 365 予定表のスケジュールを、Sales Force Assistant シリーズ、NI Collabo 360 に取り込むかどうか選択します。
B	取り込み間隔	Microsoft 365 予定表からの取り込み間隔を選択します。(30、60、90、120、150、180、210、240 分から選択) ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。
B	取り込み期間	Microsoft 365 予定表から取り込むスケジュールの期間を選択します。(1、3、6、12、24 ヶ月から選択) ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。
C	スケジュールの公開 (NI Collabo 360)	Microsoft 365 予定表から取り込まれたスケジュールを公開するかどうかを選択します。 ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。 ※Sales Force Assistant ライセンスのみご利用の社員の場合、常に非公開となります。 「公開する」場合 閲覧制限なしで取り込まれます。 「公開しない」場合 本人のみ閲覧可能な状態で取り込まれます。 「個人設定」の場合 オプション設定「スケジュール連携設定」に、「公開設定」が追加され、各社員が自由に選択することができます。 [NI Collabo 360 オプション設定画面] 

	項目名称	説明
	共通認証情報	<p>Microsoft 365 スケジュール連携で、共通利用する API への認証情報を指定します。</p> <p>クライアント ID Microsoft Entra アプリケーションの一意的 ID です。 取得手順は、「2-2-4. 認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>クライアントシークレット Microsoft Entra ID との認証に使用する資格情報です。 取得手順は、「2-2-3. クライアントシークレットの作成」を参照してください。</p> <p>ドメイン名 Microsoft 365 で利用するユーザーの@マーク以降を指定します。 NI 製品各ユーザーの社員設定またはオプション設定で「NI 製品の社員ログイン ID を利用する」が選択されている場合、「社員ログイン ID@ドメイン名」を Microsoft 365 のユーザー ID として、スケジュール連携します。</p> <p>OAUTH 2.0 トークン エンドポイント OAuth 2.0 を使ってアクセストークンを取得する URL を指定します。 取得手順は、「2-2-4. 認証情報の取得」を参照してください。</p>

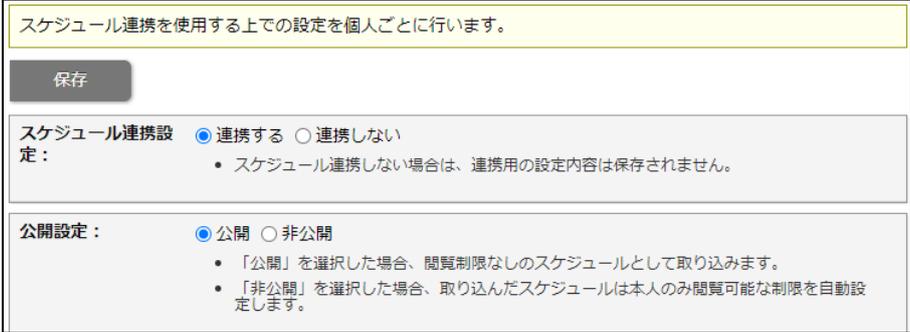
2-4-2.スケジュール連携を設定する(Outlook REST API)



Outlook REST API は、2024年3月31日に完全に非推奨となる予定と Microsoft 社から発表されています。
 新規で設定される場合は、「[2-2. Graph REST API の有効化と認証情報の取得](#)」の手順で設定してください。

- システム設定の **運用管理** より「**スケジュール連携**」の「**基本設定**」を選択します。
 ⇒「スケジュール連携/基本設定」画面が表示されます。
- 必要事項を設定し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

スケジュール連携 *	<input checked="" type="radio"/> 連携する	<input type="radio"/> 連携しない
連携サービス *	Microsoft 365(Exchange Online) ▼	
API *	<input type="radio"/> Graph REST API	<input checked="" type="radio"/> Outlook REST API
個人ごとの設定変更許可 *	<input checked="" type="radio"/> 許可する	<input type="radio"/> 許可しない
連携サービスへの登録 *	<input checked="" type="radio"/> 使用する	<input type="radio"/> 使用しない
連携サービスからの取り込み *	<input checked="" type="radio"/> 使用する	<input type="radio"/> 使用しない
取り込み間隔 *	60 ▼ (分) <small>設定した間隔でスケジュールを取り込みます。 取り込み間隔を短くすると、スケジュール表示の動作が遅くなる場合があります。</small>	
取り込み期間 *	3 ▼ (ヶ月) <small>設定した期間でスケジュールを取り込みます。 取り込み期間を長くすると、スケジュール表示の動作が遅くなる場合があります。</small>	
スケジュールの公開 (NI Collabo 360) *	<input checked="" type="radio"/> 公開する <input type="radio"/> 公開しない <input type="radio"/> 個人設定 (初期値は公開する) <small>[NI Collabo 360]に取り込まれたスケジュール] 公開する: 閲覧制限なしで取り込まれます。 公開しない: 本人のみが見られる状態で取り込まれます。 個人設定 (初期値は公開する): 設定を個人ごとにオプション設定で変更可能にします。 個人ごとの設定変更を許可しない場合は個人設定は選択できません。 [Sales Force Assistantライセンスのみご利用の社員] 常に非公開のスケジュールとして取り込まれます。 操作者本人のスケジュールのみ週・月スケジュール画面に表示されます。</small>	
共通認証情報		
クライアントID *	xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx <small>Microsoft EntraアプリケーションのクライアントIDを指定します。 例: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx</small>	
連携キーファイル *	ドラッグ&ドロップで貼り付けることができます。 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.pfx <small>作成したpfx証明書ファイルを選択します。 例: xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.pfx</small>	
パスワード * <small>pfx証明書ファイルにパスワードが設定されている場合のみ入力します。</small>	
拇印 *	xxxxxxxxxxxxxxx <small>x509公開証明書ファイル(cer)から取得した拇印を入力します。</small>	
ドメイン名 *	xxxxx.onmicrosoft.com <small>Microsoft 365(Exchange Online)で利用するユーザーのドメイン名を指定します。 例: xxxxx.onmicrosoft.com</small>	
OAUTH 2.0 トークンエンドポイント *	https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token <small>OAUTH 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを、Microsoft Entra管理画面よりコピー&ペーストして指定します。 例: https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token</small>	

	項目名称	説明
	スケジュール連携	Microsoft 365 予定表とのスケジュール連携機能を利用するかしないか選択します。
	連携サービス	連携するサービスを選択します。
	API	「Outlook REST API」を選択します。 ※「連携サービス」に「Microsoft 365(Exchange Online)」を選択した場合の設定です。
D	個人ごとの連携設定の変更許可	社員ごとに連携設定を行うことを許可するかしないかを選択します。 「許可する」場合 「オプション設定」-「スケジュール」メニューに「 スケジュール連携設定 」が追加されます。 ⇒詳細は、「 2-6.オプション設定：スケジュール連携設定 」を参照してください。 「許可しない」場合 システム設定画面から、利用社員分の連携ユーザーID等を指定します。 ⇒詳細は、「 2-5.システム設定：社員 」を参照してください。
A	連携サービスへの登録	Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを、Microsoft 365 予定表に登録するかしないか選択します。
B	連携サービスからの取り込み	Microsoft 365 予定表のスケジュールを、Sales Force Assistant シリーズ、NI Collabo 360 に取り込むかどうか選択します。
B	取り込み間隔	Microsoft 365 予定表からの取り込み間隔を選択します。(30、60、90、120、150、180、210、240 分から選択) ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。
B	取り込み期間	Microsoft 365 予定表から取り込むスケジュールの期間を選択します。(1、3、6、12、24 ヶ月から選択) ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。
C	スケジュールの公開 (NI Collabo 360)	Microsoft 365 予定表から取り込まれたスケジュールを公開するかどうかを選択します。 ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。 ※Sales Force Assistant ライセンスのみご利用の社員の場合、常に非公開となります。 「公開する」場合 閲覧制限なしで取り込まれます。 「公開しない」場合 本人のみ閲覧可能な状態で取り込まれます。 「個人設定」の場合 オプション設定「スケジュール連携設定」に、「公開設定」が追加され、各社員が自由に選択することができます。 [NI Collabo 360 オプション設定画面] 

	項目名称	説明
	共通認証情報	<p>Microsoft 365 スケジュール連携で、共通利用する API への認証情報を指定します。</p> <p>クライアント ID Microsoft Entra アプリケーションの一意的 ID です。 取得手順は、「2-3-4. 認証情報の取得」を参照してください。</p> <p>連携キーファイル Microsoft Entra ID との認証に使用する証明書が必要です。 「2-3-3. 証明書の作成と Microsoft Entra アプリケーションへの反映」で作成した pfx 形式の X.509 証明書ファイルを選択します。</p> <p>パスワード 連携キーファイルにパスワードが設定されている場合のみ、パスワードを指定します。</p> <p>拇印 連携キーファイルに指定した X.509 証明書の拇印を指定します。 「2-3-3. 証明書の作成と Microsoft Entra アプリケーションへの反映」で取得した base64Thumbprint.txt の内容をコピー & ペーストしてください。</p> <p>ドメイン名 Microsoft 365 で利用するユーザーの@マーク以降を指定します。 NI 製品各ユーザーの社員設定またはオプション設定で「NI 製品の社員ログイン ID を利用する」が選択されている場合、「社員ログイン ID@ドメイン名」を Microsoft 365 のユーザーID として、スケジュール連携します。</p> <p>OAuth 2.0 トークン エンドポイント OAuth 2.0 を使ってアクセストークンを取得する URL を指定します。 取得手順は、「2-3-4. 認証情報の取得」を参照してください。</p>

2-5.システム設定：社員

システム設定メニューから、スケジュール連携の連携有無・連携設定を社員ごとに行います。

2-5-1.連携情報を登録する



補足

- ・システム管理者が一括設定する場合、各社員の連携の有無、ユーザーID設定、連携ユーザーID/連携先カレンダーはこの画面より設定を行います。



注意

・連携開始時の連携情報について

製品と Microsoft 365 予定表を連携させた場合、**連携がONになった時点から**の情報が、Microsoft 365 へ送信されます。

※Sales Force Assistant シリーズの連携開始前の情報が Microsoft 365 側へ自動で送信されることはありません。**連携設定以降に登録・更新を行った情報**が Microsoft 365 側へ送信されます。反対に、Microsoft 365 予定表は**前月月初からのスケジュール**が製品へ送信されます。

・設定の際、以下の注意事項も併せて確認してください。

⇒詳細は、「[2-7.スケジュール連携における注意事項](#)」を参照してください。

1. システム設定の **基本設定** より「社員」の「[社員一覧](#)」を選択します。
⇒「社員/社員一覧」画面が表示されます。
2. スケジュール連携する社員を選択します。
⇒編集画面が表示されます。
3. 「スケジュール連携」項目にて、必要事項を入力し最後に **保存** ボタンをクリックします。
4. 次に、正しく連携されているかどうかを確認します。
基本設定 より「スケジュール連携」の「[ログ](#)」を選択します。
⇒「スケジュール連携/ログ」画面が表示されます。
5. 一覧画面にエラーログが表示されていないかを確認します。
エラーが表示されている場合は、その内容にしたがって設定をご確認ください。
※エラー内容の具体例については、「[4.トラブルシューティング](#)」を参照してください。

スケジュール連携

スケジュール連携： 連携する 連携しない 使用禁止

[Microsoft 365(Exchange Online)]
スケジュール連携可能製品をご使用の場合のみ、有効な設定項目となります。
(NI Collabo 360, Sales Force Assistant シリーズ)

ユーザーID設定： 個別にMicrosoft 365(Exchange Online)ユーザーIDを設定する
 NI製品の社員ログインIDを利用する

連携ユーザーID：
Microsoft 365(Exchange Online)のユーザーIDを指定します。
例：xxxxxxxxx@example.onmicrosoft.com

連携先カレンダー：
連携先カレンダーが未指定の場合、ユーザー標準の予定表が連携先となります。

項目名称	説明
スケジュール連携	スケジュール連携機能を利用する場合、以下の項目を設定してください。 ※この設定を有効にするためには、「運用管理」-「スケジュール連携」-「基本設定」のスケジュール連携項目の「連携する」を選択してください。
スケジュール連携	個人ごとの連携状態を指定します。 ※「使用禁止」について 個人ごとの連携設定の変更が許可されている場合、特定の社員のみ使用を禁止する設定です。この設定により、個人ごとの設定許可も禁止されるため使用不可となります。
ユーザーID 設定	個別に Microsoft 365 ユーザーID を設定するか、NI 製品の社員ログイン ID を利用するかを選択します。 ※「NI 製品の社員ログイン ID を利用する」を選択した場合、連携ユーザーID の項目が非表示になり、「社員ログイン ID@ドメイン名」を Microsoft 365 のユーザーID としてスケジュール連携します。 ※ドメイン名は「システム設定」-「運用管理」-「スケジュール連携」-「基本設定」より設定してください。
連携ユーザーID	Microsoft 365 ユーザーID を指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID を利用する場合は、入力不要です。
連携先カレンダー	連携したい Microsoft 365 予定表を選択します。 

2-6.オプション設定：スケジュール連携設定

各社員が個別にスケジュール連携について設定を行います。



補足

- ・システム設定「スケジュール連携」の「個人ごとの設定変更許可」を「許可しない」場合、この画面は非表示となります。



注意

・連携開始時の連携情報について

製品と Microsoft 365 予定表を連携させた場合、**連携がONになった時点から**の情報が、Microsoft 365 へ送信されます。

※Sales Force Assistant シリーズの連携開始前の情報が Microsoft 365 側へ自動で送信されることはありません。**連携設定以降に登録・更新を行った情報**が Microsoft 365 側へ送信されます。反対に、Microsoft 365 予定表は**前月月初からのスケジュール**が製品へ送信されます。

・設定の際、以下の注意事項も併せて確認してください。

⇒詳細は、「[2-7.スケジュール連携における注意事項](#)」を参照してください。

2-6-1.個人ごとに設定する（NI Collabo 360）

1. 画面下方の「[オプション設定](#)」をクリックします。
⇒オプション設定画面が開きます。
2. オプション設定メニューから「スケジュール」の「スケジュール連携設定」を選択します。
3. 「スケジュール連携設定」を「連携する」をチェックします。
⇒設定項目が下側へ追加されます。

スケジュール連携を使用する上での設定を個人ごとに行います。

保存

スケジュール連携設定：
 連携する 連携しない

- ・ スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません。

4. 「ユーザーID 設定」「連携ユーザーID」「連携先カレンダー」を入力し、

連携確認 ボタンをクリックします。

⇒エラーメッセージが表示された場合、「[4.トラブルシューティング](#)」を参照してください。

5. その他必要事項を入力し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

スケジュール連携設定: 連携する 連携しない

- スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません。

公開設定: 公開 非公開

- 「公開」を選択した場合、閲覧制限なしのスケジュールとして取り込みます。
- 「非公開」を選択した場合、取り込んだスケジュールは本人のみ閲覧可能な制限を自動設定します。

ユーザーID設定: 個別にMicrosoft 365(Exchange Online)ユーザーIDを設定する NI製品の社員ログインIDを利用する

連携ユーザーID*:

- Microsoft 365(Exchange Online)のユーザーIDを指定します。
- 例: xxxxxxxxxxx@example.onmicrosoft.com

連携先カレンダー*:

- 連携先カレンダーを変更した場合、前月始めからのスケジュール情報を同期します。

- 「連携確認」ボタンを押すと、連携先のカレンダーが選択可能になります。

項目名称	説明
スケジュール連携設定	Microsoft 365 予定表とスケジュール連携するかしないか選択します。 連携する場合、設定項目が下側に表示されます。
公開設定	Microsoft 365 予定表から取り込まれたスケジュールを公開するかどうかを選択します。
ユーザーID 設定	個別に Microsoft 365 ユーザーID を設定するか、NI 製品の社員ログイン ID を利用するかを選択します。 ※「NI 製品の社員ログイン ID を利用する」を選択した場合、連携ユーザーID の項目が非表示になり、「社員ログイン ID@ドメイン名」を Microsoft 365 のユーザーID としてスケジュール連携します。 ※ドメイン名は「スケジュール」 - 「スケジュール連携設定」より設定してください。
連携ユーザーID	Microsoft 365 ユーザーID を指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID を利用する場合は、入力不要です。
連携先カレンダー	連携したい Microsoft 365 予定表を選択します。





補足

・以下の項目は Sales Force Assistant シリーズを導入し、製品を利用できる社員のみ利用できる項目です。

・Sales Force Assistant シリーズ側で同様の設定ができます。

⇒設定項目の詳細は、「[2-6-2.個人ごとに設定する \(Sales Force Assistant シリーズ\)](#)」を参照してください。

表示対象外の商談目的：

定期訪問 情報提供 商品PR 新規開拓 案件商談 納品
 集金 クレーム対応 *未選択*

・スケジュール連携の対象外にする商談目的をチェックしてください。

表示対象外の商談目的（訪問集計対象外）：

TEL・FAX・MAIL *未選択*

・スケジュール連携の対象外にする商談目的（訪問集計対象外）をチェックしてください。

表示対象外の業務名：

資料作成 伝票発行 会議 その他 *マスター設定値以外*
 未選択

・スケジュール連携の対象外にする業務名をチェックしてください。

保存

2-6-2.個人ごとに設定する（Sales Force Assistant シリーズ）

1. 左メニューより「[オプション設定](#)」を選択します。
⇒オプション設定画面が開きます。
2. オプション設定メニューから「スケジュール連携設定」を選択します。
3. 「スケジュール連携設定」の「連携する」をチェックします。
⇒設定項目が下側へ追加されます。

4. 「ユーザーID 設定」「連携ユーザーID」「連携先カレンダー」を入力し、

連携確認 ボタンをクリックします。

⇒エラーメッセージが表示された場合、「[4.トラブルシューティング](#)」を参照してください。

5. その他必要事項を入力し、最後に **保存** ボタンをクリックします。

スケジュール連携設定： 連携する 連携しない
 スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません。

公開設定： 公開する 公開しない
 「公開する」を選択した場合、閲覧制限なしのスケジュールとして取り込みます。
 「公開しない」を選択した場合、取り込んだスケジュールは本人のみ閲覧可能な制限を自動設定します。

ユーザーID設定： 個別にMicrosoft 365(Exchange Online)ユーザーIDを設定する
 NI製品の社員ログインIDを利用する

連携ユーザーID*：
 Microsoft 365(Exchange Online)のユーザーIDを指定します。
 例：xxxxxxxxx@example.onmicrosoft.com

連携先カレンダー*：

 連携先カレンダーを変更した場合、前月始めからのスケジュール情報を同期します。

「連携確認」ボタンを押すと、設定を保存し、連携先のカレンダーが利用可能か確認できます。

項目名称	説明
スケジュール連携設定	Microsoft 365 予定表とスケジュール連携するかしないか選択します。 連携する場合、設定項目が下側に表示されます。
公開設定	Microsoft 365 予定表から取り込まれたスケジュールを公開するかどうかを選択します。
ユーザーID 設定	個別に Microsoft 365 ユーザーID を設定するか、NI 製品の社員ログイン ID を利用するかを選択します。 ※「NI 製品の社員ログイン ID を利用する」を選択した場合、連携ユーザーID の項目が非表示になり、「社員ログイン ID@ドメイン名」を Microsoft 365 のユーザーID としてスケジュール連携します。 ※ドメイン名は「スケジュール」 - 「スケジュール連携設定」より設定してください。
連携ユーザーID	Microsoft 365 ユーザーID を指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID を利用する場合は、入力不要です。
連携先カレンダー	連携したい Microsoft 365 予定表を選択します。 

商談情報連携設定	<input type="checkbox"/> 定期訪問 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 商品 P R <input type="checkbox"/> 新規開拓 <input type="checkbox"/> 案件商談 <input type="checkbox"/> 納品 <input type="checkbox"/> 集金 <input type="checkbox"/> クレーム対応
スケジュール連携の対象外にする商談目的をチェックしてください。	
商談情報連携設定 (訪問件数としてカウントしないもの)	<input type="checkbox"/> TEL・FAX・MAIL <input type="checkbox"/> *未選択*
スケジュール連携の対象外にする商談目的(訪問件数としてカウントしないもの)をチェックしてください。	
業務情報連携設定	<input type="checkbox"/> 資料作成 <input type="checkbox"/> 伝票発行 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> *マスタ設定値以外* <input type="checkbox"/> *未選択*
スケジュール連携の対象外にする業務名をチェックしてください。	
保存	

項目名称	説明
商談情報連携設定	連携 対象外 にする商談情報「商談目的」(訪問件数カウント分)を選択します。
商談情報連携設定 (訪問件数としてカウントしないもの)	連携 対象外 とする商談情報「商談目的」(訪問件数カウント外)を選択します。
業務情報連携設定	連携 対象外 とする業務情報「業務名」を選択します。

 補足	<ul style="list-style-type: none"> ・「実績」の商談・業務はスケジュール連携の対象外です。 ・なお、「予定」が「実績」となったスケジュールも連携対象外となります。
---	--

2-7.スケジュール連携における注意事項

Microsoft 365 予定表と連携する際の注意事項は、以下の通りです。

項目	説明
1 連携可能な Microsoft 製品	<p>① Exchange Online の各プラン https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/exchange/compare-microsoft-exchange-online-plans</p> <p>② Microsoft 365 のプランのうち法人向けに設計された予定表が使用可能なプラン https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/enterprise/office365-plans-and-pricing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Office 365 E1、E3、E5 <p>以下は、Exchange Online が使用できないため未サポートとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft 365 Apps for enterprise <p>ただし、Microsoft 社がエディション毎の提供機能範囲を変更する可能性があります。 詳細は上記 URL から Microsoft 社の情報をご確認ください。</p>
2 スケジュールの公開設定	<p>Sales Force Assistant シリーズから連携されたスケジュールは、常に公開(非公開のチェックが OFF の状態)となります。</p> <p>ただし、Microsoft 365 予定表は個人用のため、予定表自体を組織内の他ユーザーと共有、または、組織外に一般公開していない限り、公開スケジュールは本人のみ閲覧可能となります。</p>
3 終日イベントの設定	<p>Sales Force Assistant シリーズから連携されたスケジュールを「終日」のイベントに変更しないでください。連携によるスケジュールの更新時に、「終日」が解除されます。</p>
4 標準以外のカレンダーを選択する場合	<p>Sales Force Assistant シリーズと連携する連携先カレンダーを変更する場合、変更した予定表の前月月初までの期間を同期します。</p> <p>そのため、連携先カレンダーを変更した場合、スケジュールが重複する可能性があります。重複したスケジュールは、Microsoft 365 予定表にて削除してください。</p> <p>※連携先カレンダーの変更は、社員情報と個人オプション設定から可能です。</p> <p>※前月月初までの期間を同期する処理は、オプション設定でのみ実行されます。</p>
5 カレンダー設定について	<p>NI Collabo 360、Sales Force Assistant シリーズの連携先カレンダーに設定する Microsoft 365 予定表は社員毎に違う予定表を設定してください。</p> <p>複数の社員が同じ予定表を設定すると、連携が正常に行われなくなります。</p>
6 Microsoft 365 予定表からの取り込みについて	<p>連携社員の数が多く、取り込み期間が長い場合、スケジュールの反映までに時間がかかります。Microsoft 365 予定表のスケジュールが NI Collabo 360、Sales Force Assistant シリーズのスケジュールに反映されるまでの時間が長い場合は、システム設定の「取り込み期間」を短く設定してください。</p>
7 プロキシサーバー経由の外部接続について	<p>Microsoft 365 予定表との通信を行う際、認証の必要なプロキシサーバー経由の通信には対応しておりません。</p> <p>Microsoft 365 予定表との連携を行うためには、NI 製品の WEB サーバーから Microsoft 365 への通信が必要となります。</p> <p>プロキシサーバーを経由しないと外部への通信が行えない場合、認証の不要なプロキシサーバーであれば、システム設定>運用管理>アップデート>プロキシに、アドレスとポート番号を指定する事で通信が可能となります。</p> <p>しかし、プロキシサーバーに認証(ユーザー名とパスワード)が必要な場合は、非対応となりますので、プロキシサーバーを経由しない通信、又は、認証の不要なプロキシサーバーの環境をご用意ください。</p>

2-8. Outlook REST API から Graph REST API への切り替え

以下の手順で、Outlook REST API から Graph REST API への切り替えを行ってください。

「[2-8-1. Microsoft Entra アプリケーションのアクセス許可](#)」

「[2-8-2. クライアントシークレットの作成](#)」

「[2-8-3. スケジュール連携を設定する\(Graph REST API\)](#)」

上記設定をすべて行うと、自動的に Graph REST API での連携に切り替わります。

2-8-1. Microsoft Entra アプリケーションのアクセス許可

既に登録されている Microsoft Entra アプリケーションにアクセス許可を追加します。

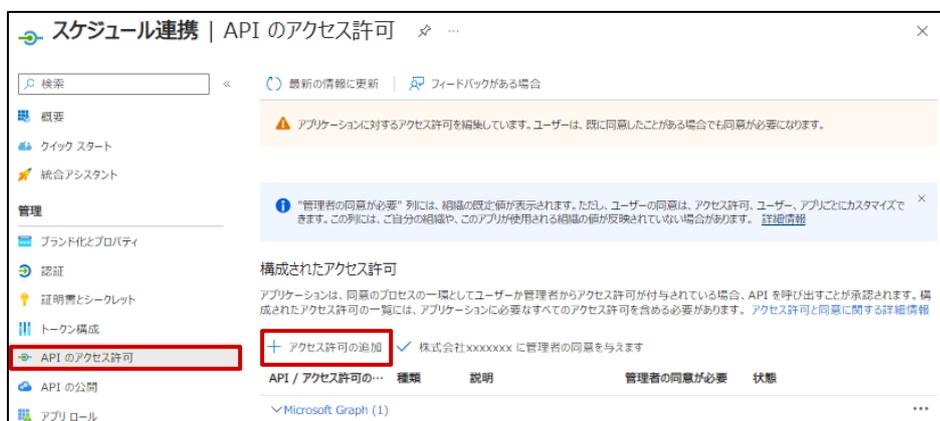
1. 画面左メニュー「アプリケーション」>「アプリの登録」で表示される対象のアプリケーションをクリックします。

アプリケーションの画面が表示されます。



2. API へのアクセス許可の設定を行います。

(ア) 作成したアプリケーションの「API のアクセス許可」>「アクセス許可の追加」をクリックします。



(イ) 画面上のタグから「所属する組織で使用している API」 > 「Microsoft Graph」をクリックします。

API アクセス許可の要求

API を選択します

Microsoft API 所属する組織で使用している API 自分の API

API を公開するディレクトリ内のアプリは、以下のとおりです

名前	アプリケーション (クライアント) ID
Microsoft Customer Engagement Portal	71234da4-b92f-429d-b8ec-6e62652e50d7
Microsoft Device Directory Service	8f41dc7c-542c-4bdd-8eb3-e60543f607ca
Microsoft Dynamics 365 Apps Integration	44a02aaa-7145-4925-9dcd-79e6e1b94eff
Microsoft Dynamics 365 Supply Chain Visibility	d6037e40-282c-493d-8f63-f25e36c6e4
Microsoft Exchange Online Protection	00000007-0000-0ff1-ce00-000000000000
Microsoft Flow Service	7df0a125-d3be-4c96-aa54-591f83ff541c
Microsoft Forms	c9a559d2-7aab-4f13-a6ed-e7e9c52aec87
Microsoft Graph	00000003-0000-0000-c000-000000000000
Microsoft Information Protection API	40775b29-2688-46b6-a3b5-b256bd04df9f
Microsoft Information Protection Sync Service	870c4f2e-85b6-4d43-bdda-6ed9a579b725
Microsoft Intune	0000000a-0000-0000-c000-000000000000
Microsoft Intune AAD BitLocker Recovery Key Integration	ccf4d8df-75ce-4107-8ea5-7afd618d4d8a
Microsoft Intune API	c161e42e-d4df-4a3d-9b42-e7a3c31f59d4
Microsoft Intune Enrollment	d4ebce55-015a-49b5-a083-c84d1797ae8c
Microsoft Intune IW Service	b8066b99-6e67-41be-abfa-75db1a2c8809

(ウ) 「アプリケーションの許可」 > 「Calendars.ReadWrite」 > 「アクセス許可の追加」をクリックします。

API アクセス許可の要求

< すべての API

Microsoft Graph
<https://graph.microsoft.com/> [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する すべて展開

calendar

アクセス許可	管理者の同意が必要
Calendars (1)	
<input type="checkbox"/> Calendars.Read ⓘ Read calendars in all mailboxes	はい
<input type="checkbox"/> Calendars.ReadBasic.All ⓘ Read basic details of calendars in all mailboxes	はい
<input checked="" type="checkbox"/> Calendars.ReadWrite ⓘ Read and write calendars in all mailboxes	はい

アクセス許可の追加 破棄

(エ) 「API のアクセス許可」画面にて「管理者の同意を与えます」をクリックします。

スケジュール連携 | API のアクセス許可

検索

概要

クイックスタート

統合アシスタント

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意する必要があります。

"管理者の同意が必要" 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加

✓ 株式会社xxxxxxxxx に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の...	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (2)				
Calendars.ReadWrite	アプリケー...	Read and write calend...	はい	⚠ 株式会社xxxxxxxxx に付...
User.Read	委任済み	Sign in and read user ...	いいえ	...

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

(オ) 確認のダイアログが出た場合、「はい」をクリックします。

管理者の同意の確認を与えます。

株式会社xxxxxxxxx のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか？ この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

はい いいえ

(カ) アクセス許可の付与が成功すると画面上に以下のメッセージが表示されます。

スケジュール連携 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+)

概要

クイックスタート

最新の情報に更新

フィードバックがある場合

要求されたアクセス許可の管理者の同意が正常に付与されました。

2-8-2. クライアントシークレットの作成

既に登録されている Microsoft Entra アプリケーションにクライアントシークレットを作成します。

1. 対象のアプリケーションの「証明書とシークレット」 > 「新しいクライアントシークレット」をクリックします。



2. 任意の説明を入力し、有効期限の選択を行い、「追加」をクリックします。



3. 表示される「値」をコピーします。



クライアントシークレットの「値」は作成直後しか確認できず、画面を移動・閉じてしまうと「値」は非表示となります。
コピーに失敗した場合、同様の手順で再度新しいクライアントシークレットを作成してください。

2-8-3.スケジュール連携を設定する(Graph REST API)

Outlook REST API の設定値を一部使用し、Graph REST API の設定を行います。

1. システム設定の **運用管理** より「**スケジュール連携**」の「**基本設定**」を選択します。
⇒「スケジュール連携/基本設定」画面が表示されます。
2. 「API」項目に「Outlook REST API」が選択されていることを確認し、この状態で「共通認証情報」の以下の設定値を確認します。(後ほど Graph REST API の設定に使用するため)
 - ・クライアント ID
 - ・ドメイン名
 - ・OAUTH 2.0 トークンエンドポイント

共通認証情報	
クライアントID :	xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Microsoft EntraアプリケーションのクライアントIDを指定します。 例:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
連携キーファイル :	ドラッグ&ドロップで貼り付けることができます。 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.pfx 作成したpfx証明書ファイルを選択します。 例:xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.pfx
パスワード :	***** pfx証明書ファイルにパスワードが設定されている場合のみ入力します。
拇印 :	xxxxxxxxxxxx x509公開証明書ファイル(.cer)から取得した拇印を入力します。
ドメイン名 :	xxxxx.onmicrosoft.com Microsoft 365(Exchange Online)で利用するユーザーのドメイン名を指定します。 例:xxxxx.onmicrosoft.com
OAUTH 2.0 トークンエンドポイント :	https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token OAUTH 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを、Microsoft Entra管理画面よりコピー&ペーストして指定します。 例:https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token

3. 「API」項目に「Graph REST API」を選択します。
4. 「共通認証情報」に 2.の手順で確認した情報を入力します。

共通認証情報	
クライアントID :	xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Microsoft EntraアプリケーションのクライアントIDを指定します。 例:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
クライアントシークレット :	***** Microsoft Entraアプリケーションのクライアントシークレットの値を指定します。
ドメイン名 :	xxxxx.onmicrosoft.com Microsoft 365(Exchange Online)で利用するユーザーのドメイン名を指定します。 例:xxxxx.onmicrosoft.com
OAUTH 2.0 トークンエンドポイント :	https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token OAUTH 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを、Microsoft Entra管理画面よりコピー&ペーストして指定します。 例:https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token

5. 「共通認証情報」の「クライアントシークレット」に「[2-8-2. クライアントシークレットの作成](#)」で作成したクライアントシークレットの値を入力します。

共通認証情報	
クライアントID :	xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Microsoft EntraアプリケーションのクライアントIDを指定します。 例 : xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
クライアントシークレット : Microsoft Entraアプリケーションのクライアントシークレットの値を指定します。
ドメイン名 :	xxxxx.onmicrosoft.com Microsoft 365(Exchange Online)で利用するユーザーのドメイン名を指定します。 例 : xxxxx.onmicrosoft.com
OAOUTH 2.0 トークンエンドポイント :	https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token OAOUTH 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを、Microsoft Entra管理画面よりコピー&ペーストして指定します。 例 : https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token

6.  ボタンをクリックします。

3.スケジュール連携について

3-1. NI Collabo 360 との連携

Microsoft 365 予定表と NI Collabo 360 を連携することができます。

Microsoft 365 予定表のスケジュールを NI Collabo 360 で照会ができます。

[NI Collabo 360:スケジュール画面]

NI Collabo 360

設定された貴社名が表示されます
営業部 江沼 文吾 退社

更新日時: 20XX年2月5日(金) 17:50

マイポータル

ポータル > スケジュール (月表示)

新規登録 スケジュール調整 空き時間検索

グループ日表示 グループ週表示 日表示 週表示 月表示 予定一覧

営業部 江沼 文吾

日	月	火	水	木	金	土
28	3/1	2	3	4	5	6
	17:30 交通費精算	09:00~10:00 来客 赤木電機		3/4 09:00 ~ 3/5 10:00 出張 研修		3/6 07:00 ~ 3/7 18:30 フットサル大会 in 琵琶湖
7	8	9	10	11	12	13
3/6 07:00 ~ 3/7 18:30 フットサル大会 in 琵琶湖	11:00~12:00 外出 石田産業 18:00~19:00 会議 提案書について		09:00~10:00 打合せ 予算書について 18:00~18:30 予算資料作成		14:00~15:00 外出 相田コンサル	3/6 09:00~16:30 マラソン大会

NI Collabo 360 へ

[Microsoft 365 予定表画面]

Outlook

新しいイベント

2021 3月

日	月	火	水	木	金	土
28	1	2	3	4	5	6
			17:30 交通費精算			7:00 フットサル大会 in 琵琶湖
7	8	9	10	11	12	13
7:00 フットサル大会 in 琵琶湖			18:00 予算資料作成			9:00 マラソン大会
14	15	16	17	18	19	20

3-1-1.連携の特徴

連携の特徴は以下の通りです。

[Microsoft 365 予定表 ⇒ NI Collabo 360]

カレンダーの表示

NI Collabo 360 に取り込まれたスケジュールは、**M**アイコンが表示されます。

木	金	土
4	5	6
🕒 3/4 09:00 ~ 3/5 10:00 出張 研修		M 3/6 07:00 ~ 3/7 18:30 フットサル大会 in 琵琶湖

カレンダーの編集

NI Collabo 360 に取り込まれたスケジュールは、編集不可となります。

再利用	メール通知	閉じる
区分:	確定	
件名:	マラソン大会	
日時:	2021年3月13日(土) 09:00 ~ 2021年3月13日(土) 16:30	

スケジュール（予定一覧）画面から一括削除できます。

ポータル > スケジュール（予定一覧）

対象：
すべてのスケジュール

検索：
すべての項目

すべてを含む(AND)

グループ日表示 グループ週表示 日表示 週表示 月表示 予定一覧

<< < 1 > >> 1 - 1 / 1 一覧件数：50 件 ↓

✓	件名	日時
<input type="checkbox"/>	M マラソン大会	2021年3月13日(土) 09:00~16:30

リンクの URL 表示

NI Collabo 360 に取り込まれたスケジュールは、テキスト形式でリンクの URL が表示されます。

例)

[Microsoft 365 予定表]

Microsoft Teams meeting
コンピューターまたはモバイル アプリで参加できます
[会議に参加するにはここをクリックしてください](#)
[詳細情報ヘルプ](#) | [会議のオプション](#)

[NI Collabo 360]

内容 :

```
Microsoft Teams meeting
コンピューターまたはモバイル アプリで参加できます
会議に参加するにはここをクリックしてください<https://teams.microsoft.com/l/meetup-j
oin/xxxxameeting_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
xxxx>
詳細情報ヘルプ<https://aka.ms/JoinTeamsMeeting> | 会議のオプション<https://teams.
microsoft.com/meetingOptions/?organizerId=XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>
```

タイムゾーン

取り込まれたスケジュールの「タイムゾーン」は、NI Collabo 360 のシステム設定 > 基本設定 > 社員／社員一覧で設定されているタイムゾーンに対応するものが設定されます。

スケジュール連携後にタイムゾーンを手動で変更された場合、NI Collabo 360 と Microsoft 365 予定表で表示される時刻が一致しない可能性があります。

3-1-2.注意事項について

Microsoft 365 予定表と連携する際の注意事項は、以下の通りです。

	項目	説明
1	スケジュールの重複チェックについて	NI Collabo 360 の重複したスケジュールをチェックの場合においても、Microsoft 365 側から登録したスケジュールは「重複チェック」をせず NI Collabo 360 に取り込まれます。
2	添付ファイルについて (Graph REST API)	<p>Microsoft 365 予定表で「画像を本文に挿入」ボタンから画像が挿入されたスケジュールを Graph REST API で NI Collabo 360 に取り込んだ場合、API の仕様により『Microsoft 365 側の添付ファイル ID』が画像の位置に表示されます。 画像自体の連携は不可のため、上記 ID のみが連携されます。 ID を表示させたくない場合、Microsoft 365 予定表で「画像を本文に挿入」ではなく「添付」ボタンから画像を添付してください。</p> <div data-bbox="579 698 1426 788" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>内容： [cid:b6f67f09-c375-424d-b063-7ac870e33387]</p></div>

3-2. Sales Force Assistant シリーズとの連携

Microsoft 365 予定表と Sales Force Assistant シリーズを連携することができます。

Sales Force Assistant シリーズのスケジュールに登録すると、Microsoft 365 予定表に自動連携されます。

[Sales Force Assistant シリーズ:スケジュール画面]

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
3/1 17:30 交通費精算	2 予定作成 09:00~10:00 未客 赤	3 予定作成	4 予定作成 09:00~3/5 出張 研修	5 予定作成 3/4~10:00 出張 研修	6 予定作成 07:00~3/7 フットサル	7 予定作成 3/6~18:30 フットサル
8 予定作成 11:00~12:00 外出 石 18:00~19:00 通 提	9 予定作成	10 18:00 予算資料作成 09:00~10:00 打合せ	11 予定作成	12 予定作成 14:00~15:00 外出 相	13 予定作成 09:00~16:30 マラソン	14 予定作成

Microsoft 365 予定表へ

Sales Force Assistant シリーズへ

[Microsoft 365 予定表画面]

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
2月28日	3月1日 17:30 交通費精算	2	3	4	5	6 7:00 フットサル大会 in 琵琶
7 7:00 フットサル大会 in 琵琶	8	9	10 18:00 予算資料作成	11	12	13 9:00 マラソン大会
14	15	16	17	18	19	20

3-2-1.連携の特徴

連携の特徴は以下の通りです。

[Sales Force Assistant シリーズ ⇒ Microsoft 365 予定表]

「場所」項目について

Microsoft 365 予定表の「場所」項目は、商談予定の顧客プロフィールに登録された「住所」を自動的にセットします。

The screenshot displays two panels. The left panel shows a meeting entry for '赤木電機/定期訪問' on 2019/07/11 (木) at 10:30. The location is '東京都千代田区'. The right panel shows the customer profile for '赤木電機', with the address field '住所' set to '東京都千代田区'. A red box highlights the location in the meeting entry, and another red box highlights the address in the customer profile, with a red arrow pointing from the meeting location to the profile address field.

商談情報・業務情報の更新

Microsoft 365 予定表側から更新された商談情報・業務情報の内容は、Sales Force Assistant シリーズ側には反映しません。

※Sales Force Assistant シリーズ側で更新された内容は、Microsoft 365 予定表側へ更新します。

対象となる商談情報・業務情報

対象となる情報は、**予定情報**のみです。(※実績情報は対象外)

なお、予定から実績となった場合も対象外となる為、Microsoft 365 予定表は予定のまま残ります。

タイムゾーン

Microsoft 365 予定表のスケジュール個別の「タイムゾーン」は、Sales Force Assistant のシステム設定 > 基本設定 > 社員/社員一覧で設定されているタイムゾーンに対応するものが設定されます。

スケジュール連携後にタイムゾーンを手動で変更された場合、Sales Force Assistant シリーズと Microsoft 365 予定表で表示される時刻が一致しない可能性があります。

[Microsoft 365 予定表 ⇒ Sales Force Assistant シリーズ]

カレンダーの表示

Sales Force Assistant シリーズに取り込まれたスケジュールは、**M** アイコンが表示されます。

20XX年3月4日(木)	09:00~3/5 出張 研修
20XX年3月5日(金)	3/4~10:00 出張 研修
20XX年3月6日(土)	M 07:00~3/7 フットサル大会 in 琵琶湖

取り込まれたスケジュール

取り込まれたスケジュールは、常に**非公開**となります。（※本人のみ閲覧が可能。）

※但し、NI Collabo 360 製品を導入しており、利用権限が付与されている場合は、公開・非公開をシステム設定画面上で設定可能です。

タイムゾーン

取り込まれたスケジュールの「タイムゾーン」は、Sales Force Assistant のシステム設定 > 基本設定 > 社員／社員一覧で設定されているタイムゾーンに対応するものが設定されます。

3-2-2.注意事項について

Microsoft 365 予定表と連携する際の注意事項は、以下の通りです。

	項目	説明
1	NI Collabo 360 と Sales Force Assistant シリーズの両方の利用権限がある場合	Microsoft 365 予定表で登録されたスケジュールは、NI Collabo 360 スケジュールとして取り込まれるため、Sales Force Assistant シリーズ上では表示しません。DMV 上で表示したい場合、以下の設定を行ってください。 ⇒NI Collabo 360「オプション設定」より、「スケジュール」-「連携設定」-「(Sales Force Assistant シリーズ)」-「表示設定」を“表示する”に設定します。

3-3.iOS 端末 (iPhone、iPad) の標準カレンダーアプリ情報との連携

iOS 端末 (iPhone、iPad) の標準カレンダーアプリ情報を Microsoft 365 予定表を経由し弊社製品に取り込むことができます。



補足

- ・動作確認は iOS 端末の標準カレンダーでのみ行っております。
標準カレンダー以外の iOS 端末向けアプリとの連携については動作未確認となります。

3-3-1.カレンダー同期

Microsoft 365 予定表と iOS 端末の標準カレンダーを同期するには、Outlook.com を使って同期してください。

Outlook.com を利用する方法

アカウントを追加の画面で Outlook.com を選択し、メール・連絡先・カレンダー・メモ等を同期する設定の内、カレンダーを連携する機能を利用する。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/ios-%E7%89%88-outlook-%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA%E3%82%92%E8%A8%AD%E5%AE%9A%E3%81%99%E3%82%8B-b2de2161-cc1d-49ef-9ef9-81acd1c8e234?ui=ja-jp&rs=ja-jp&ad=jp>



補足

- ・iOS や Microsoft 365 側の仕様変更により同期できないケースが発生する可能性があります。

4.トラブルシューティング

スケジュールが選択できない。

オプション設定のカレンダー選択でエラーが表示されている場合、その内容にしたがって設定をご確認ください。エラーの内容が不明で連携できない場合、NI コンサルティングサポートデスクまでお問い合わせください。

エラーメッセージの具体例については、「[スケジュール連携設定を行ったが連携されない。](#)」を参照してください。

スケジュール連携設定を行ったが連携されない。

スケジュール連携ログより、エラーログが記録されていないかご確認ください。エラーが表示されている場合、その内容にしたがって設定をご確認ください。エラーの内容が不明で連携できない場合、NI コンサルティングサポートデスクまでお問い合わせください。

■ 設定箇所

システム設定の **運用管理** より「**スケジュール連携**」の「**ログ**」

Microsoft 365 予定表連携時のエラーログ具体例	説明
予定表取得処理でエラーが発生しました。 (500:ErrorInternalServerError) The SMTP address has no mailbox associated with it.	ユーザーID が誤っている可能性があります。 社員情報、または、個人オプション設定からスケジュール連携設定を再設定してください。
認証処理でエラーが発生しました。 (400:unauthorized_client) AADSTS700016:Application with identifier xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx was not found in the directory xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 クライアントID が誤っている可能性があります。
認証処理でエラーが発生しました。 (401:invalid_client) AADSTS70002: Error validating credentials. AADSTS50012: Client assertion contains an invalid signature. Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 Microsoft Entra ID にアップロードした情報と異なる証明書のファイルを指定している可能性があります。
pfx 証明書ファイル読み込みエラーが発生しました。	証明書ファイルの形式が違う、または、証明書ファイルのパスワードが誤っている可能性があります。

Microsoft 365 予定表連携時のエラーログ具体例	説明
<p>認証処理でエラーが発生しました。 (400:unauthorized_client) AADSTS70002: Error validating credentials. AADSTS50064: Credential validation failed. Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z</p>	<p>登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 拇印が誤っている可能性があります。</p>
<p>認証処理でエラーが発生しました。 (400:invalid_request) AADSTS90002: Tenant 'xxxxxxxxxxxxxxx' not found. This may happen if there are no active subscriptions for the tenant. Check with your subscription administrator.Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z</p>	<p>登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 OAUTH 2.0 トークン エンドポイントが誤っている可能性があります。</p>
<p>認証処理でエラーが発生しました。 (400:invalid_request) AADSTS901002: The 'resource' request parameter is not supported.Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z</p>	<p>登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 OAUTH 2.0 トークン エンドポイントには、Microsoft Entra ID の「OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v1)」を設定してください。</p>
<p>認証処理でエラーが発生しました。 (401:invalid_client) AADSTS700027: Invalid JWT token. No certificate thumbprint nor keyId specified in token header. Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z</p>	<p>登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 拇印が誤っている可能性があります。</p>
<p>認証処理でエラーが発生しました。 (401:invalid_client) AADSTS7000215: Invalid client secret provided. Ensure the secret being sent in the request is the client secret value, not the client secret ID, for a secret added to app 'xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx'. Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z</p>	<p>登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 クライアントシークレットが誤っている可能性があります。</p>

Microsoft 365 予定表連携時のエラーログ具体例	説明
<p>認証処理でエラーが発生しました。 (401:invalid_client) AADSTS7000222: The provided client secret keys for app 'xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx' are expired. Visit the Azure portal to create new keys for your app: https://aka.ms/NewClientSecret, or consider using certificate credentials for added security: https://aka.ms/certCreds. Trace ID: xxxxxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Correlation ID: xxxxxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z</p>	<p>登録された情報で Microsoft Entra ID への認証に失敗している状態です。 クライアントシークレットの有効期限が切れています。 「2-2-3. クライアントシークレットの作成」の手順で新しいクライアントシークレットを作成し、作成したクライアントシークレットの値を「2-4-1. スケジュール連携を設定する (Graph REST API)」へ設定してください。</p>

連携先サービスを変更する、または連携をやめる場合の注意点。

- ・未送信の情報が残っている場合、連携エラーとなります。
全社員のスケジュール連携を、各社員のオプション設定、
または、システム設定＞基本設定＞社員情報から「連携しない」に変更してください。
(社員情報は CSV での一括更新でも可能です。)
- ・変更後、1 時間程度時間を開けて、NI Collabo 360 のスケジュール画面（月表示等）、
または S F A トップページを開いてください。
- ・上記作業後にシステム設定＞運用管理＞スケジュール連携／基本設定にて、
サービスを変更する、または、スケジュール連携を「連携しない」に変更してください。
- ・既に連携してあるスケジュールは削除されません、不要な場合は手動で削除してください。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

○ 発行

2024年4月22日 第14版

株式会社 **NI**コンサルティング

サポートデスク

E-mail : support@ni-consul.co.jp Fax : 082-511-2226

営業時間 : 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 (当社休業日、土・日・祝日を除く)